

水泳部顧問の先生方、1年間よろしくお祈いします。  
初めて水泳部の顧問となられた方に、県中体連大会の説明をします。さらに不明な点や地区大会に関することは、地区の運営委員にお尋ね下さい。

1. 大会

- 群馬県中体連で主催する水泳競技大会
  - 群馬県中学校春季選抜水泳競技大会（春季選抜大会）
  - 群馬県中学校総合体育大会水泳競技大会（県総体）
  - 群馬県中学校新人水泳競技大会（県新人大会）
- 群馬県中体連水泳部で選手団等のとりまとめをする大会
  - 関東中学校水泳競技大会
  - 全国中学校水泳競技大会
- その他

2. 大会参加の主な流れ（県大会関係）

- Web-SWMSYS（ウェブスマス）へのアクセス
- 大会申込をインターネットで行います。日本水泳連盟競技者登録システムをウェブスマスと呼びます。
- 大会の申込・書類の作成をウェブスマス上で行います。
- 大会申し込み先に先立って、選手の登録等をする必要があります。マニュアルを参照して、新年度更新作業をして下さい。マニュアルはHPにあります。
- 「県総体」「県新人」は必ず地区大会の記録でエントリーしてください。
- プロ編会議への参加
- 選手の参加が正しく登録されているかを確認します。
- 大会の打合せや連絡などがあります。
- 競技役員としての大会を運営する（県大会）
- 選手が参加する大会には、顧問が競技役員として参加します。
- 生徒引率・指導と同時に行うこととなりますがよろしくお祈いします。
- 競技役員資格に興味のある方は、運営委員にご連絡ください。
- 関東・全国大会に引率される先生方は、打合せ会議に出席してください。
- 大会当日は選手が好記録を出せるように、選手の生活指導をお祈いします。
- 群馬県選手団のとりまとめの仕事をお祈いすることもあります。

3. 問い合わせについて

- 県中体連水泳部に関する情報を中体連水泳専門部のHPに掲載しています。
- HP（<http://www.geocities.jp/guntyusui/>）を参照して下さい。
- その他、不明な点については、地区の運営委員にお問い合わせ下さい。
- 県委員長への問い合わせは、生活に支障が出ていますので避けてください。

4. 年度初めの連絡

- Web-SWMSYSの運用について不明な方は地区の運営委員に確認して下さい。
- 年度更新処理として「団体更新登録」「選手の年度更新登録」「新入生の登録」が必要です。
- 春季選抜大会が今年度のはじめの中体連県大会です。
- 各校の体育主任の先生が持っている県大会要項（HPにもあり）を確認して下さい。
- 期日までにウェブスマス上で大会申込を行って下さい。
- 以上について、地区の運営委員の先生に確認して準備を進めて下さい。

5. その他

- 群馬県水泳連盟のHPが公開されました。部員・保護者に紹介してください。

<http://gunma-swim.org> 大会要項や競技会情報が掲載されます。

2枚目は「はじめて県大会出場する選手の皆さんへ」です。  
必要に応じて、そのまま印刷して説明として使って下さい。

# はじめて県大会に出場する選手の皆さんへ

競技会の流れを知って落ち着いて参加し、力を発揮できるようにしてください。

【会場】県中体連大会では、応援席は地区ごとに割り振られています。場所を確認して下さい。  
更衣室は着替えだけで、荷物を置いてはいけません。荷物は応援席か指定の荷物置き場に置きます。  
**競技開始後は、審判長、通告がある本部前に立ち入ったり、横切ったりはいけません。**

## 【プログラムの確認】

- (1) 会場に入ったらプログラムを確認し、自分が正しくプログラムに載っているかを確認します。  
氏名の文字、学年、学校名、種目が正しいかを調べます。
- (2) 間違いがあったら、顧問の先生を通して大会本部に相談します。

## 【アップ・ダウン】

- (1) 朝のアップの時間には、しっかりアップします。
- (2) 朝のアップ中、泳ぐコースとスタート練習のコース(ダッシュコース)は分かれていますので、それを守ってアップします。放送の指示を聞きましょう。実際のレースの時のスターターがピストルを打ってくれる公式スタート練習でスタート練習をしておきます。
- (3) レース前後に必要なアップダウンをします。ダウンコースへの通り道は守りましょう。

## 【招集】

- (1) レースに参加するために、選手はそのレースの前、決まった時間に招集所に集まります。  
招集に間に合わないと失格となることもあります。来ていることが伝わるように、しっかり返事しましょう。どれくらい前に集まるかは開会式か顧問の先生に確認します。  
招集に集まったら、そこからはなれず、並んで順番を待って、レースに臨みます。
- (2) リレーオーダー用紙を決められた時刻までに招集所に提出します。(用紙は顧問の先生にもらう)  
リレーオーダーは、泳ぐ順に書きます。メドレーリレーは「背」「平」「バタ」「自」の順
- (3) 棄権する場合には、棄権届けを招集所に提出します。(用紙は招集所に用意されている)
- (4) リレーオーダーも棄権届けも顧問の先生にサインをもらいます

## 【スタートの手順】

【審判長の短い笛】 4回鳴る。選手は立ち上がる。ゴーグルはこのときにはしている。

【審判長の長い笛】 スタート台に上がり、スタート台の端に、足の指をかける。  
構えてしまっている。少なくともすばやく構えられるようにする。  
背泳ぎでは、プールに足から入る。

(背泳ぎではもう一度の【審判長の長い笛】で  
棒をつかみプールの壁に足をかけ、構えられるようにする。)

【「用意」のかけ声】 すばやく構え、制止する。ゴーグルや顔を触ることはもちろん、体がぶれてもいけない。初心者は止まっているつもりでも止まれていることが多い。

【出 発 音】 スタート音とともに、飛び込む。

## 【ゴール後】

- (1) ゴール後、速やかにプールから上がります。上がらないと次のレースができません。
- (2) プールから上がった後、すぐに退場します。ダウンしましょう。
- (3) 記録は掲示板に発表されます。入賞者は、すぐに賞状を運営室に取りにいきましょう。

## 応援者のマナー

スタートの時には、選手が集中できるように、スタート音がしっかり聞こえるように、応援者は静粛にしなければなりません。

**審判長の笛が鳴ったら、選手がスタートするまで、  
応援者は静粛にしなければならない。**

お互いに気持ちのいい応援をして、力を発揮しましょう。